

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業のんの ルーム 駒場店				公表日	令和8年 3月 4日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	・課題内容に応じて活動場所を分けている	・活動内容によってはあるが、1階訓練室のみでは手狭である		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	100%		・適切に配置している				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	40%	60%	・室内をバリアフリー化している ・絵カードや掲示物を活用し、視覚支援を行っている	・現状該当児童の利用はないが、トイレが車いす対応ではない			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・毎日清掃・消毒を行っている ・子供の活動内容に合わせ、マット・フローリング部分でスペースを分けている				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・個別対応・やクールダウンが必要な際利用できる環境を整備している				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	・職員会議にて設定と振り返りを行っている	・課題に応じてさらなる改善策を検討する		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	・集計結果を職員で共有し、対応策を検討している	・郊外療育に出かけ、地域の他の子どもとの活動機会を設けているが保護者への周知が足りていない		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・会議にて、全職員で共有し改善策を検討している			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	・地域の子どものみを招いて一緒に活動してもらい、終了後アンケート表にて評価を豊けている ・ホームページにて公開している	・定期的に地域の他の子どもを招いて外部評価を行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・外部、内部研修を定期的に行っている			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・公表されている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・作成している			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・全支援職員で計画作成案に対し、意見を出し合い検討している			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・児童一人ひとりの個別支援計画内容の共有を図っている	・支援の継続が難しい		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・日々児童一人ひとりの行動観察を記録しており、インフォーマルなアセスメントを行っている ・適応行動の状況をA1ツールを用いてフォーマルなアセスメントを行っている			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・放課後デイサービスガイドラインののっとって支援内容を設定している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・職員で協議、立案している			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・曜日を設定して活動プログラムを設定している ・複数の活動課題を用意している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・朝会議や共有ノートを活用し、急遽の変更等に対応している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	100%		・会議や共有ノートを活用し、支援内容の振り返りや気づいた点の共有を図っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・お手伝い活動を通して得た報酬で好きな駄菓子を買う機会を設けて自己決定の経験則を支援している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	・地域の他の子どもと活動する機会を設ける為、定期的に郊外療育を実施しており、図書館でのイベントにも参加している	・感染症への懸念から児童館への訪問回数が減っている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	・講習会に参加している	・参加できる機会が少ない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・連絡帳を活用したり、自宅送迎時に行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	・各専門機関や民間からの広報紙を配布し、研修について情報提供を行っている	・家族への周知が足りていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		・家族参加型の行事を計画し、交流の機会を設けている	・家族参加型のレクリエーションを行い、茶話会を通して家族支援の機会を設けているが、参加者がいない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・連絡帳やブログ等を活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%	・地域に開かれた事業運営を目指し、定期的に周辺の清掃活動に取り組んでいる	・事業所内での行事等に地域の方々を招待できていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%		・マニュアルを策定しているが、全てのパターンで訓練できていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・年3回災害を想定して避難訓練を行っていたが、毎月の訓練に変更した	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・食物アレルギーのある子どもに対し、アレルゲンとなる食材をおやつに使用しない様配慮している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・毎月ヒヤリハット事例について会議を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・毎月虐待防止委員会を開催し、虐待防止に努めている ・虐待防止研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				